



高齢者のいのちと生活を守る



SOSネットワーク

記憶力や判断力が低下すると、道を間違えて家に帰れなくなったり、自分がどこにいるのかわからなくなってしまうことがあります。そのような高齢者を、地域ぐるみですみやかに発見・保護し、その後の生活を支援していくのが、「SOSネットワーク」です。

高齢者がいなくなったことに気づいたら

すぐに警察署へご連絡ください

■弟子屈警察署 ☎ 482-2110(内線261)

【警察へ連絡後はどうなるの??】

警察は、家族の了解のもとに、標茶町と協力して早期の発見・保護に努め、保護された後は、地域包括支援センターの職員や、担当の介護支援専門員等が、医療や福祉の関係機関と連携し、高齢者とそのご家族の支援を行います。



SOSネットワークを利用するには

- ご家族等に行方不明になる可能性のある高齢者がいる場合は、行方不明時にすぐに捜索が開始できるように事前登録を行います。事前登録申請書と写真を地域包括支援センターへ提出をする必要があります。
- 高齢者が行方不明になった場合には、ためらわず、すぐに弟子屈警察署へ連絡してください。
※事前登録を行っていない方が行方不明になった場合でも、事前登録者同様の捜索活動を行いますので、登録の有無に関わらず速やかな連絡をお願いします。

ご家族の方へ

- 最近、物忘れが多くなっていませんか。高齢になると記憶力・判断力が低下し、道に迷ったり、自分の家が分からなくなったりすることがあります。
- もしも、行方が分からなくなった場合の捜索をスムーズに行い、高齢者の安全を守るため、SOSネットワークの事前登録をお勧めします。

地域の方へ

- もし、高齢者が道に迷っているような様子だったり、「ちぐはぐな服装や履物を着用している」「服や持ち物に名前や連絡先が書いてある」のような高齢者が建物の陰に座り込んでいたり、倒れていたら、まずは優しく「こんにちは」と声をかけてください。
- 名前や住所が答えられない、行先が分からない場合には警察に連絡し、警察が来るまでそばについているか、最寄りの交番へ案内してください。
- 汗をかいている、のどが渇いているようであれば水分を補給してあげてください。

高齢者支援・認知症についてのお問合せ

○どのようなことでも、気軽にご相談ください。

連絡先 標茶町地域包括支援センター ☎ 485-1515